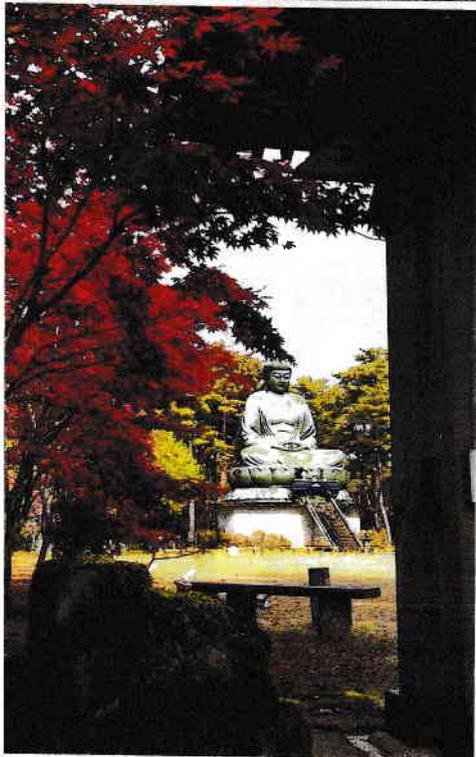


『紡ぐ』

2021.11.15 第31号
発行 教育相談室「あした塾」



とりむかひ 照紅葉



「照紅葉(とりむかひ)」とは紅葉した葉が太陽の光を受けて光り輝く様子を表した言葉だそうです。穴水町の紅葉を求めて、あちこち歩き回り、能登長寿大仏に来ました。11月の初めでは、ここ見頃のようです。写真はいずれも能登長寿大仏周辺です。冬山の紅葉していません。全国の大観光地のような大規模な紅葉スポットはありません。町のあちこちにいくつもの「小さい秋」が見られます。

ゆっくり流れる時間の中で、ひとときを光り輝くあるいは雨のしずくが落ちる「小さい秋」に心を寄せておぼろげな思いを。

取材に戻ったこの日、能登長寿大仏には多摩川など県外ナンバーの車が数台止まっていた。穴水町に良い印象を持って帰ってもらいたいななだと思っていました。(T)

伊藤議員 活動報告

11月8日、伊藤繁男議員は今年2回目の活動報告を出しました。その中で、来年1月に行われる町長選挙について書いています。町長選挙については、9日議会でどの議員も質問はせませんでした。石川町長も現職としては進退を明らかにしていません。もう時間がないのです。穴水町のカシ取はどうかあるのでしょうか？ 元気な声を出したいと...

エウカン



アサカ大陸原産のエウカン(別名厚葉草、代蘭)は明治中期に日本に来りやす。スズランを大きくしたような花で、6月頃と10月頃の2回咲きます。2mを超えるくらいの高さになり、突如堂々としたものです。今年は6月頃に咲き、10月のおいすにも咲きました。二回とも咲くような厚葉草はめずらしい。学名に立派な、栄光ある」という意味があり、和名が「厚葉草」に。

(権田内 権井室)

いしかわ文化推進期間作品展から

石川県は10月19日(日)から11月5日(金)

おを「いしかわ文化推進期間」として
県内各地で様々な企画イベントが
実施されました。宇水町では、町ゆかりの
川岸要吉氏と青山杉雨氏の作品展
を開催しています。

川岸要吉
かきよし とうきち



青山杉雨
あおやま さゆ 氏



青山杉雨氏は養母の出生地が宇水町であった
ことから作品が寄せられています。日展審査
員と日展常務理事などを歴任しています。



川岸要吉氏は宇水町梶の出身
で、宇水中学校の第1回卒業
生でもあります。

梶区長である横田松嗣氏の
叔父にあたります。横田氏の
家には、宇水中学校の前に置
かれている群像の元になる像
が置かれています。

川岸要吉氏は日展審査員、日
展展覧審査員などを歴任してい
ます。(記事付所の説明書参考)



(宇水中学校前)



(横田松嗣先生)

日展2021 初入選



宇水町波志借の竹野珠鶴(博正)氏
が日展2021の「書」で初入選と
なりました。とてもおめでとうございます。

全国8,518点の中から入選1,083
点と入選率は約13%で、「日本画」や
「彫刻」など5部門の中で最も狭き門
でした。石川県からは書で15人が入
選しました。初入選は6人です。

令和4年5月21日～6月12日、金沢
の県立美術館で展示される予定です。
一度、足を運んでみてください。

これらの作品は作品展
がなければ倉庫の片すみで眠
ることになります。もったいな
い話です。宇水町には日展作家も含め洋画
や書などの作家が多くいます。その方に
作品も含めて、どこか埋もれてしまっ
たりする工夫ができませんか!?
美術館があればいいのです。それだけ
なくとも、工夫してほしいですね。